



私たちは、未来へつなぐ「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。

グループ社会貢献活動 「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」

〔北神急行電鉄〕 山田川のホタルを未来に残したい ～子どもたちと共に自然の大切さを考える～

谷上駅の近くを流れる山田川(神戸市北区)の自然環境保護を目指して、北神急行電鉄では、川のクリーン作戦やホタルの鑑賞会などを実施しています。2月には、地元自治会などと共に、地域の小学生を招いて自然環境学習会を開催。子どもたちに自然の大切さを伝えました。



かつては、洗剤の泡が浮くほど汚れていた山田川。これに危機感を覚えた地元では、「山田川を美しくする会」などが中心となって川の美化に努めてきました。地域に根差した鉄道事業者として、北神急行電鉄は2011年からこの活動に参加。地元住民の皆さんと共に取り組んできた結果、今ではホタルが息できるまでに、美しい環境を取り戻しています。

2月の学習会には、谷上小学校の3年生41名が参加。北神急行電鉄の従業員、「山田川を美しくする会」や谷上地区

自治連合会の皆さんの話を、子どもたちは真剣な面持ちで聞き入っていました。川に住む生き物を守ることの大切さについて学んだ後は、魚すくい網を手に川の中を観察し、大きな魚を見つけたときには歓声上がるなど、自然とのふれあいを楽しみました。

参加した子どもたちからは「川は大切にしないでいいんだね」「思った以上に、川にたくさんの生き物がいて良かった」といった声が聞かれ、心に残る一日になったようです。

発行：阪急阪神ホールディングス株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号
TEL:06-6373-5100 FAX:06-6373-5670

株主様のご意見・ご感想をお待ちしております。
<http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/contact/>



この印刷物は、大豆油インキを含まない植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証紙を使用しています。

HANKYU HANSHIN Letter

株主通信
Vol. 29
2015年6月発行

トップメッセージ 新たな経営ステージに移行し、 将来の成長に向けた 基盤整備を進めてまいります



特集 1 インバウンド事業
特集 2 働く女性支援事業

新たな経営ステージに移行し、 将来の成長に向けた 基盤整備を進めてまいります

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当社グループの2014年度連結業績につきましては、エンタテインメント・コミュニケーション事業をはじめ各事業とも順調に推移したことから、営業収益が前年度から増加すると共に、営業利益、経常利益、当期純利益とも、前期に引き続き過去最高の実績となりました。これも株主様をはじめ、多くのステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

また、当社グループでは、これまで各コア事業の競争力強化と財務体質の改善に並行して取り組んでまいりましたが、それらに対して相応の成果を上げることができましたので、今後は新たな経営ステージに移行し、将来を見据えた投資をはじめ、成長に向けた基盤整備に本格的に踏み出してまいります。

さらなる企業価値の向上に向けてグループ一丸となって努力してまいりますので、引き続き、皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

阪急阪神ホールディングス株式会社
代表取締役社長

角 和 夫

営業利益、経常利益、 当期純利益のすべてにおいて 過去最高を更新

Q 2014年度の経営環境と業績について教えてください。

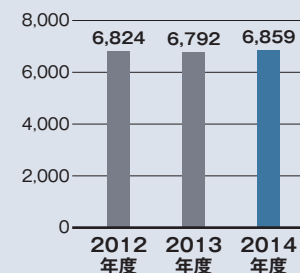


2014年度の方が国経済は、消費税率引上げ等による影響を受け、個人消費に弱さが見られたものの、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続きました。

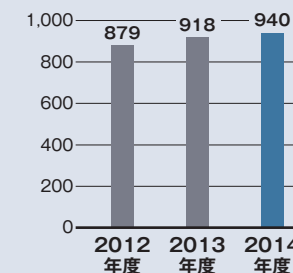
この間、当社グループにおきましては、中期経営計画に掲げる目標を達成すべく、各コア事業の競争力強化を図ると共に、コア事業間の連携を通じてグループ総合力の発揮に努めました。

この結果、エンタテインメント・コミュニケーション事業において、阪神タイガースが日本シリーズへの進出を果たしたほか、100周年を迎えた宝塚歌劇の各公演が好評を博したことなどにより、前期に比べ、営業収益、営業利益及び経常利益はいずれも増加しました。また、法人税率引下げ等の税制改正に伴い法人税等調整額が減少したことなどにより、当期純利益も増加しました。なお、営業利益、経常利益及び当期純利益については、前期に引き続き、過去最高の実績となりました。

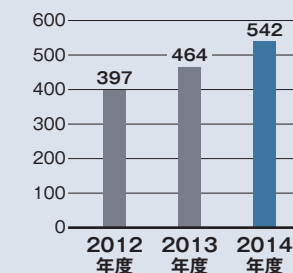
営業収益
(単位:億円)



営業利益
(単位:億円)



当期純利益
(単位:億円)



想定を上回るスピードで 中期経営計画が進捗

Q これまでの中期経営計画の進捗は
いかがでしょうか？

2008年のいわゆるリーマン・ショックを含め、当社グループは厳しい時代を乗り越えてきました。複数の大規模プロジェクトを推進しつつ、並行して財務体質の強化にも取り組み、有利子負債を4年間で約3,000億円削減した結果、2013年度には経営目標であった「有利子負債/EBITDA倍率≒7倍」を達成し、2014年度にはさらに同倍率を6.4倍にまで改善しています。

こうした成果に加えて、中長期的な視点で成長投資を増加させつつ、引き続き財務体質の強化にも取り組むという姿勢が外部からも評価され、格付機関R&I（株式会社格付投資情報センター）による格付が2年連続で引き上げられ、2014年8月には「A-」から「A」となりました。

Q 2014年度の主なトピックスについて
お聞かせ下さい。

まず阪急梅田駅のリファイン工事の完成を挙げる事ができます。これは梅田駅周辺の開発に呼応した取組みで、阪急梅田駅の再生と魅力の向上を目的に、2010年度から改修工事を行ってきました。そして、2015年3月に統一感あふれる洗練された駅としてリニューアルを果たすことができ、今後、梅田地区の活性化に貢献していくものと期待しています。

また、宝塚歌劇が100周年を迎え、宝塚と東京の両劇場の公演とも、年間の平均稼働率が100%を超える人気と



阪急梅田駅 BIGMAN前広場



月組公演「TAKARAZUKA 花詩集100!!」

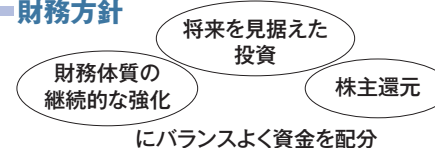
新たな経営ステージに向けた 二つの事業戦略

中期経営計画 (2015年度~2018年度)

事業戦略

- 戦略① 梅田地区をはじめとする沿線の価値向上
- 戦略② 中長期的な成長に向けた
新たなマーケットの開拓(首都圏・海外など)

財務方針



目標とする経営指標

営業利益 **800** 億円水準を維持
 当期純利益 **400** 億円水準を維持
 ROE **6%**水準を維持
2018年度末までに確実に、
 有利子負債 **9,000** 億円未満に圧縮

中長期的視点で目指す水準

有利子負債/EBITDA倍率 **5** 倍台
 D/Eレシオ **1** 倍程度

なりました。阪神タイガースは、クライマックスシリーズを制覇し日本シリーズへ進出したことにより、好業績を上げることができました。

さらに、梅田1丁目1番地計画や阪神梅田駅改良工事に着手したほか、インドネシアでの物流倉庫建設やベトナムでの分譲マンション事業への参画など、将来の成長に向けた新たな取組みを始めることのできた一年となりました。

Q 今後の事業戦略について
お聞かせ下さい。

戦略の一つ目は「梅田地区をはじめとする沿線の価値向上」です。特に梅田地区については、梅田1丁目1番地計画や阪神梅田駅改良工事を推進するなど、当社グループの総合力を結集すると共に、経営資源を優先的に投じて競争力を強化するほか、沿線の主要拠点についても活性化を図っていきます。

また、民間学童保育「アフタースクールKippo(キッポ)」や子どもの登下校をメールで知らせる「登下校ミマモルメ」、リハビリ特化型の「はんしんいきいきデイサービス」など、多様な世代の方々が安心して快適に暮らすことのできるサービスの提供を開始しています。このように、未永く住み続けたいと評価される沿線づくりにも積極的に取り組んでいきます。

戦略の二つ目は「中長期的な成長に向けた新たなマーケットの開拓」です。沿線を中心とした取組みにとどまらず、首都圏や海外など、新しいマーケットの開拓を通じて、収益基盤の拡大を図っていきます。



「四谷駅前地区第一種市街地再開発事業」パース

今後4年間で 約3,400億円の投資を計画

首都圏では、JR四ツ谷駅前での市街地再開発事業への参画や宿泊特化型ホテル「レム」の5店舗目となる「レム六本木計画」などを推進していきます。また海外では、国際輸送事業で培ったノウハウやネットワークを活かして、インドネシアなどアセアン地域で物流倉庫の開発を進めるほか、ベトナムでは分譲マンション事業に参画します。

一方、外国人旅行者の数が急速に増える中で、インバウンド需要の獲得が大きなビジネスチャンスとなっています。当社グループでは、阪急・阪神沿線を周遊できる外国人向けの企画乗車券を販売しているほか、無料Wi-Fi（無線インターネット接続）サービスを提供するなど、沿線を訪れる外国人の受入れ体制の整備にも取り組んでいます。

Q 2015年度の業績見込みと、今後の経営指標についてお聞かせ下さい。

A 2015年度については、不動産事業における施設用地の売却等により、2014年度とほぼ同水準の営業利益計画としています。

2018年度にかけては、「中長期的な成長のための基盤整備」の時期と位置付け、上述の事業戦略や新たな財務方針に沿って経営資源を配分していきます。まず設備投資（投融資を含む）については、今後4年間で、大規模開発投資や新たなマーケット開拓のための投資約1,300億円を含めて、合計で約3,400億円を見込んでいます。一方、財務体質の強化も着実に推進し、2018年度末までに有利子負債残高を9,000億円未満にする計画です。

また、利益水準については、営業利益は800億円水準、当期純利益は400億円水準を維持していきたいと考えており、資本効率を示す指標としては、ROE6%以上を目指していきます。

総還元性向25%を 新たな指標に

Q 配当政策についてはいかがお考えでしょうか？

A 当社では、経営基盤と財務体質の強化に努めながら、安定的な配当を実施していくことを基本方針としており、2013年度利益の配分から、1株当たりの配当金の下限を年間5円から6円へ変更し、2014年度においても年間6円の配当を実施しました。

今後については、「成長投資」や「財務体質強化」とのバランスに留意しつつ、株主の皆様への利益還元について一層の充実を図るため、2015年度利益の配分から、1株当たりの配当金を年間7円に引き上げることとします。同時に、総還元性向（連結当期純利益に対する年間配当金総額と自己株式取得額の合計額の割合）25%を株主還元の新たな指標と位置付け、安定的な配当の実施と自己株式の取得に取り組んでいきます。

Q さらに成長に向けて、グループの総合力をどのように発揮していきますか？

A 首都圏や海外など新しいマーケットの開拓や、インバウンド需要の獲得については、それぞれの事業が強みを発揮するだけでなく、事業の枠を超えてグループ各社が連携を図り、着実に取り組んでいきたいと考えています。また、STACIAカードを軸としたグループカード・ポイント戦略についても、グループで連携を強め、より顧客満足度の高いサービスに進化させることで、競争力の強化を図っていきます。

経営統合以来、経営基盤と財務体質の強化に注力してきましたが、今後はグループ全体で挑戦する姿勢をより強く打ち出し、将来に向けて持続的な成長、発展を目指していきたいと考えています。

グループの力を結集し、 挑戦する姿勢で成長を促進

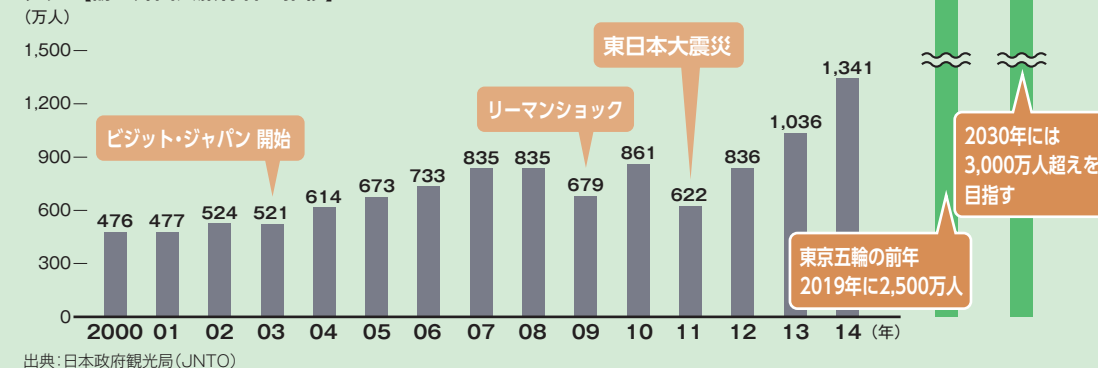


インバウンド事業 増加する外国人旅行者に おもてなしの心で サービスを提供

近年、LCC（格安航空会社）の運行増加や訪日ビザの緩和などを背景に、日本を訪れる外国人旅行者の数は右肩上がりが増えていきます。当社グループでは、このような動きをしっかりとらえ事業の成長につなげていきます。

訪日外国人旅行者は10年で2倍に!

グラフ【訪日外国人旅行者の推移】



インバウンド事業が 大きなビジネスチャンスに

人口の減少に伴い、国内旅行者も減少するという問題に直面している日本で、今、注目されているのが、インバウンド需要の拡大です。

グラフが示すように、外国人旅行者の数は年々増加し、この10年で2倍以上となっています。推計によると、2019年には2,500万人、2030年には3,000万人と飛躍的に伸びる見込みです。

阪急阪神グループを挙げて 受入れ体制の拡充を推進

インバウンド需要の拡大に対応して、当社グループでは外国人旅行者に向けたおもてなしの充実を注いでいます。

すでに阪急電鉄、阪神電気鉄道のすべての駅をはじめ、主要な商業施設、ホテルなどに無料のWi-Fi*を整備。さらに阪急ツーリストセンターの開設、多言語対応の充実など、外国人旅行者の受入れ環境も整えてきました。

また、ホテル事業と旅行事業によるシナジー検討会や、グループ全体でのインバウンド研究会を立ち上げ、横断的な取組みを進めています。

*公衆無線LANを利用したインターネット接続サービス

インバウンド需要の獲得へ

きめ細やかなおもてなしで多様なニーズに対応

» インバウンド商品の開発

グループ施設を便利に利用できる商品を提供し、沿線における外国人旅行者の周遊を促します

主な商品

■ HANKYU TOURIST PASS / HANSHIN TOURIST PASS

外国人旅行者の方々に沿線を気軽に移動していただける、阪急全線／阪神全線の乗降フリー乗車券。販売枚数が急増中で、2014年度は合計約13万枚になりました。韓国や台湾、香港でも販売を開始しています。

また「六甲山ツーリストパス」や「有馬温泉太閤の湯クーポン（外国人旅行者向け）」も販売しています。



阪急ツーリストセンター（大阪・梅田）

» プロモーション強化

海外における当社グループの認知度を高め、インバウンド需要の掘り起こしを図ります

主な取組み

■ 韓国に拠点を設置し、営業活動やプロモーションを実施

■ 海外旅行博への出展

グループ各社の横断的なミーティングを通じて、インバウンドの情報を共有している「インバウンド研究会」。同研究会では、台湾、韓国、香港、タイなどアジア各国の旅行博に積極的に出展中で、今後はグループで連携し、様々な大型案件の獲得を目指していきます。

■ ホテル事業における国際セールス部門の強化



関西モデルコースパンフレット

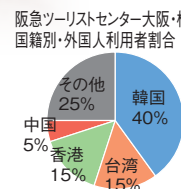
» 受入れ体制の整備

沿線を訪れる外国人旅行者の利便性・快適性を高めます

主な取組み

■ 阪急ツーリストセンター、阪神電車サービスセンターの設置

大阪・梅田、京都・河原町、神戸・三宮の各拠点で、日本語、英語、中国語、韓国語（三宮除く）の4カ国語に対応した交通・観光案内所を設置。接客サービスを充実させています。



■ 「HANKYU-HANSHIN WELCOME Wi-Fi」の提供

簡単な手続きで、阪急電鉄、阪神電気鉄道などの157駅で無料で利用可能。阪急三番街、阪急西宮ガーデンズ、グランフロント大阪などの商業施設でも同様の環境を整備しています。



■ グループ施設に銀聯カード決済端末を導入

■ 外国人旅行者向けに、トラピックス国内旅行予約サイト

「Travel to Japan」を開設
阪急交通社は英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語の5言語に対応した国内旅行の予約サイトを運営しています。

■ 外国人旅行者向けプリペイドSIMカードの販売

ホテル阪急インターナショナル、大阪新阪急ホテル、京都新阪急ホテルでは、関西のホテルでは初の取組みとして、日本国内のLTE高速モバイルデータ通信サービスが利用できる「プリペイド式SIMカード」を発売しました。



■ 12カ国語で案内可能なタブレット端末を設置

阪急阪神ホテルズ「レム」では、各ホテルにiPadを設置し、アラビア語やポルトガル語などを含む12カ国語での案内に対応しています。



■ 沿線の魅力を紹介する専用Webサイトの開設

ウェブサイト「大阪・京都・神戸 黄金路線360°」では、三都市の情報を中国語（簡体字、繁体字）、英語、韓国語でアジア各国に向け発信中。関西エリアへの訪問促進を図っています。



働く女性支援事業

子育てを応援

次世代を見据えた沿線価値の創造に挑む

現在の日本において、女性が暮らしやすく、働きやすい社会を築いていくのは重要な課題です。当社グループでは、働く女性支援の様々な取組みを通じて、皆様に愛される沿線づくりを目指しています。また、当社グループ自体も女性がより働きやすく、活躍できる環境の整備に努めています。



2015年4月
アフタースクール「Kippo」誕生!

子どもの成長につながる「今」を大切に、働く女性の子育て支援を通じてキャリアを応援。

子ども	親(お母さん)
<ul style="list-style-type: none"> 新しいおもちゃやお遊戯会をプログラム アフタースクール、体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> 働く女性につながるコミュニティの場を提供 育児支援サービス
<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全で楽しい体験活動 体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> 共働きライフスタイルを支える環境のご提供 体験活動

愛される沿線づくりをめざして



阪急豊中駅に
4月OPEN!



子育て世代を支える 民間学童保育サービスを提供

当社グループは、事業戦略の一つである「梅田地区をはじめとする沿線の価値向上」に向けて、「子育てしやすい沿線」を目指して、子育て世代を支えるサービスの開発に努めています。

今年4月、沿線の働く女性の声を取り入れ、阪急豊中駅に民間学童保育施設「アフタースクールKippo (キッポ)」を開業。これは、小学生の子どもを放課後から最長21時まで預けることができ、学校へのお迎えサービスや食事の提供、当社グループのネットワークを活かした体験アクティビティを行うことで、放課後環境の改善や、女性の就労支援に対応するものです。

現状では、子どもが小学校に入学した際、放課後の預け先に悩んで働き続けることが難しくなる、いわゆる「小1の壁」という問題を抱えた女性が少なくありません。Kippoの取組みを通じて、女性のライフスタイルを支えていくことは、当社グループの使命だと考えています。

サービスの特色



学校お迎えサービス



駅長イベント



日常イベント (手作りおやつ)

女性の力をより発揮できる企業へ

女性が働きやすい沿線づくりを目指すには、女性の視点が不可欠です。当社グループにおいても、育児休暇や短縮勤務など、子育てをしながら仕事が続けられる支援制度を充実させ、利用促進を図っています。Kippoはそんな当社グループの環境から生まれた事業です。



阪急電鉄株式会社 経営企画部
竹之内 麻里 課長 松本 美樹

子育てしやすい沿線をめざして

——Kippoがついにスタートしました。

現在の運営状況を教えてください。

竹之内 開業した4月は、入所する子どもたちにとって新学期や入学式など新生活を迎えるタイミングでした。緊張しているお子様が多く見受けられたため、まずは安心できる居場所になるよう心掛けました。その成果もあって、お子様から「またここに来たい!」という声をいただき、まずは無事に第一歩を踏み出せたのではと考えています。

松本 保護者の方からは「社会性に富んだ子どもに育てたい」というご要望を数多くいただいています。アフタースクールとして、お子様に安心と快適を提供するのに加えて、社会や地域の様々な人、物との出会いを通じて、夢や感動も培える場でありたいと願っています。

——新規事業としてのすべり出しはいかがでしょうか?

松本 開業して約3か月経ちますが、順調なすべり出しができています。1号店は、大阪、神戸へ通勤する方が、多数乗降される豊中駅北改札口から、徒歩1分の場所に開業しました。またKippo

の特色である多様な体験アクティビティや、同施設が駅構内にあることにも魅力を感じる方が多く、これらの要素がKippoに対するニーズの高さにつながっていると感じます。

竹之内 開業後は、多くのメディアに取り上げられるなど、世間からも注目していただきました。そのおかげもあって、「この駅にも出店してほしい」という声を多くいただくほか、施設見学に来られるご家族もあり、沿線の皆様のご関心の高さを実感しています。

——今後、どのような運営をめざしていますか?

竹之内 まずは豊中駅の見学、駅長のお話など当社グループ各社で働くプロに協力してもらい、様々な体験を提供することで、学びと遊びを通じて子どもたちに社会を知ってほしいですね。また今後はKippoと地域との連携を深めていくことで、ご家族だけでなく地域全体で子どもたちを見守る場にしたいと思います。

松本 まずは1号店の運営を軌道に乗せて、拠点を増やすことを検討していきます。そして安心して子育てができ、末永く住み続けたいような阪急・阪神沿線の実現に貢献していきたいと思っています。

» HANSHIN女性応援プロジェクト

女性の皆様にうれしいサービスや情報を提供

女性が暮らしやすく、活躍しやすい環境を目指し、阪神電気鉄道では「HANSHIN女性応援プロジェクト」として、女性に役立つサービスや情報の紹介、提供を行っています。

ひとつは、ベアーズとの提携による「家事おたすけサービス」。専門スタッフがお客様の自宅にお伺いし、掃除や洗濯、料理などの家事を皆様に代わって行うものです。

もうひとつは、AsMama（アズママ）が提供する「子育てシェア」。これはインターネットを利用して、顔見知り同士が助け合いの心を持って、子どもの送迎や育児を頼り合うシステムです。

今後も、女性が自分らしく活躍できる環境づくりのため、さらなるサービスの拡充を図っていきます。

HANSHIN
女性応援
プロジェクト

HANSHIN女性応援プロジェクトWEB

女性の生活にプラスとなる
「情報発信のプラットフォーム」

- 女性に役立つサービス紹介
- mama's smile
(子育てママが使いやすい店舗等の紹介)
- 沿線クチコミ情報
(店舗情報、質問掲示板)など

阪神女性応援 検索

「家事おたすけサービス」とは こんなサービスです

掃除・洗濯・料理など日常的な家事を定期的又は1回毎のスポットでお手伝いするプランのほか、整理収納や力仕事、お庭のお手入れなど、様々なニーズに対応したプランがあり、希望に合わせて利用できます。

家事おたすけサービス

メリット1

家族や
子どもとの
時間が増えた!

メリット2

新しい趣味や
習い事を
始めた!

メリット3

休日に
しっかり
休めた!

メリット4

キレイな部屋で
気持ちも
スッキリ!



歴史探訪

～阪急阪神沿線を訪ねて～

梅の名所から 関西有数の高級住宅地へ

かつて「梅は岡本、桜は吉野、みかん紀の国、栗丹波」と謳われるほど、梅の名所として有名だった岡本。梅林の広さは約6,000坪あったという。その後、水害や空襲、戦後復興に伴う宅地化によって徐々に梅林は減少していった



ものの、地元の強い想いから保久良神社や岡本梅林公園に梅林が整備され、紅梅、白梅、しだれ梅など多種多様な梅の花が、

今も春の訪れを告げている。閑静な住宅地として人気が高い岡本は、阪急神戸線の開通と阪急岡本駅の誕生を機に、大阪から富裕層が移り住んできたのがルーツだと言われる。自然環境のすばらしさに魅せられた人たちが続々と邸宅を建て、岡本は関西有数の高級住宅地となった。

文化人も魅せられた 豊かな自然と美しい眺望

岡本の美しい自然は、多くの文化人を惹きつけた。谷崎潤一郎もそのひとり。彼が20年以上に及んだ阪神間での生活で、唯一の持ち家を建てたのが岡本だった。その「岡本梅ノ谷の家」は、坂の上からの眺望に魅了された彼の理想を、梅林近くに具現化したもの。『乱菊物語』や『吉野葛』といった名作もそこで生まれた。

また、岡本駅の北側にある岡本南公園は、水上勉の小説『櫻守』のモデルとなった笹部新太郎の邸宅跡である。

桜博士として知られる笹部は、長年にわたって桜の保護と育成に尽力。ダム工事で水没するはずだった樹齢400年以上の桜を、岐阜県からこの地に移植させたことで有名である。

多彩な表情で 多くの人を魅了する街

岡本はまた、「学生の街」でもある。駅から10分も歩けば甲南大学があり、甲南女子大学、神戸薬科大学などが近いこともあって、駅前にはおしゃれなカフェやショップが並ぶ。多くの人で賑わいながら、どこか落ち着いた印象がある



のは、街のシンボルでもある石畳の坂道が醸し出す風情のせいかもしれない。梅林で知られる豊かな自然、山手の閑静な住宅地、活気にあふれる学生街、そして都市圏へのアクセスにも恵まれた立地…。多彩な表情をもつ岡本は、多くの人を惹きつけてやまない。

街が熱気に包まれる 「本山だんじり祭り」

車上に飾りを立て、はやしを行い曳行していく「だんじり」。怨霊や疫病などを鎮め、豊作を祈願する、古くから行われている祭礼です。神戸市東灘区の数あるだんじり祭りの中でも、最も盛り上がりを見せるのが、本山だんじり祭り。毎年5月のはじめに多数のだんじりが巡行し、街全体が熱気に包まれます。伝統を守りつつ、地域住民の結びつきを強める貴重な祭りです。



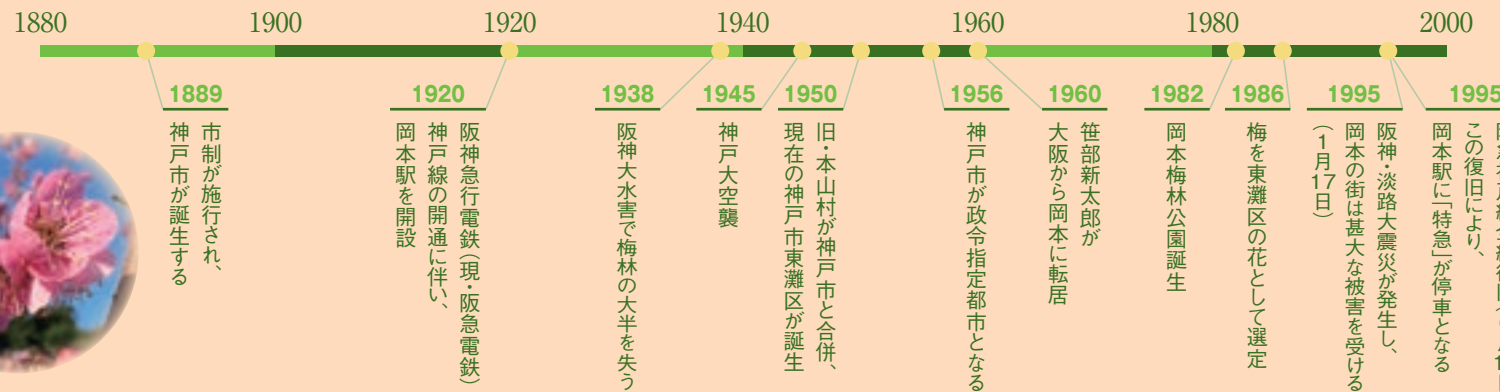
山に囲まれた豊かな自然、活気にあふれた学生街、
石畳の舗道に並ぶ洗練されたサロンやカフェ。

岡本

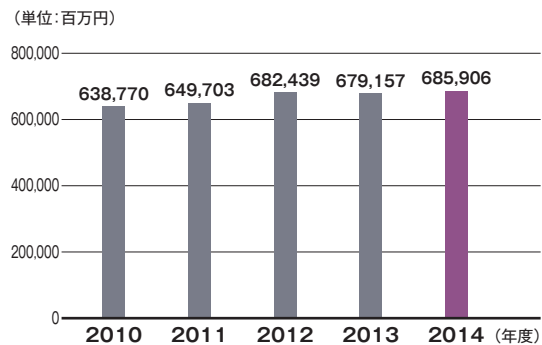
- oka moto -

多彩な表情を持つ街、
岡本の魅力をご紹介します。

〈岡本の変遷〉



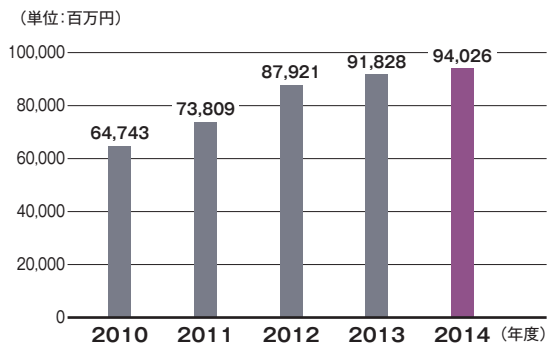
営業収益



6,859億6百万円
(前期比1.0%増)

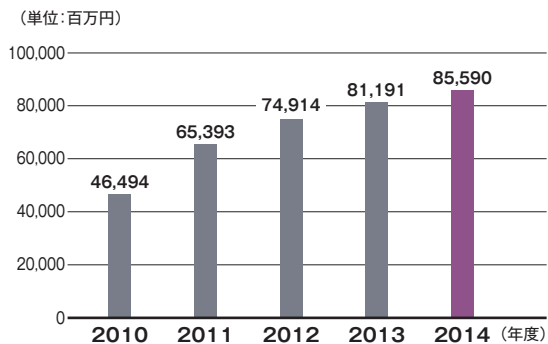
エンタテインメント・コミュニケーション事業において、阪神タイガースが日本シリーズへの進出を果たしたほか、100周年を迎えた宝塚歌劇の各公演が好評を博したこと等により、営業収益は6,859億6百万円と前期比1.0%の増収に、営業利益は940億26百万円と同2.4%の増益になりました。営業利益については、前期に引き続き、過去最高の実績を更新しました。

営業利益



940億26百万円
(前期比2.4%増)

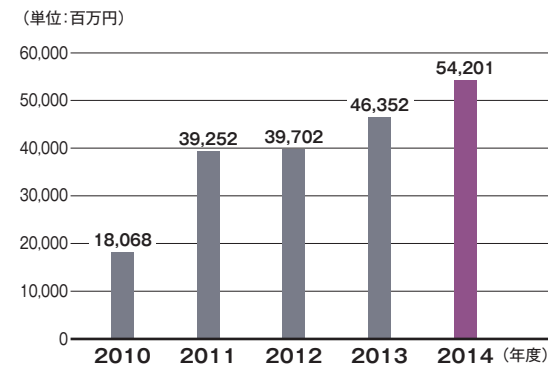
経常利益



855億90百万円
(前期比5.4%増)

営業利益が増加したことに伴い、経常利益も855億90百万円と、前期比5.4%の増益になりました。経常利益も前期に引き続き、過去最高の実績を更新しました。

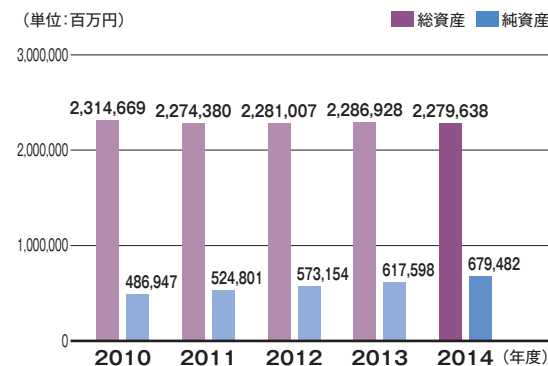
当期純利益



542億1百万円
(前期比16.9%増)

法人税率引下げ等の税制改正に起因する繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩しに伴い、法人税等調整額が減少したこと等により、当期純利益は542億1百万円と前期比16.9%の増益になりました。当期純利益も前期に引き続き、過去最高の実績を更新しました。

総資産・純資産



総資産 2兆2,796億38百万円
(前期末比72億90百万円減)

純資産 6,794億82百万円
(前期末比618億83百万円増)

総資産は、販売土地及び建物が減少したこと等により、2兆2,796億38百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の増加等により6,794億82百万円となりました。

1株当たり指標ほか

(単位:円)

科目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
1株当たり当期純利益	14.32	31.13	31.48	36.76	42.98
1株当たり純資産	377.17	407.01	443.63	477.69	525.56
1株当たり配当金	5.00	5.00	5.00	6.00	6.00
自己資本比率(%)	20.6	22.6	24.5	26.3	29.1

当社グループの多彩なサービスを無料・優待価格で



グループ優待券の主な内容 ※グループ優待券のご利用範囲については券面をご参照下さい。

旅行割引券

(左) ヨーホー国立公園 (右) レイク・ルイーズ (カナダ)

施設入場券
(六甲山上レジャー施設など)

六甲
ガーデンテラス

施設入場券
(六甲高山植物園)

六甲高山植物園

施設入場券
(六甲ケーブル)

六甲ケーブル

ホテル宿泊・飲食割引券

第一ホテル東京

**甲子園歴史館
入館引換券**

(2015年5月現在)

優待内容 優待 基準株数	株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)	株主優待乗車証 (全線バス)	グループ 優待券
1,000～2,399	4回カード×1枚 (4回乗車分)	—	1冊
2,400～4,999	4回カード×3枚 (12回乗車分)	—	
5,000～9,999	25回カード×1枚 (25回乗車分)	—	
10,000～30,999	30回カード×2枚 (60回乗車分)	—	
31,000～48,999 ※①②のいずれかを選択	① 30回カード×2枚 (60回乗車分) ② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線バス1枚	
49,000～79,999 ※①②のいずれかを選択	① 10回カード×1枚 (10回乗車分) ② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線バス1枚 阪神電車全線バス1枚	
80,000～999,999	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線バス1枚 + 阪神電車全線バス1枚	
100万以上	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線バス10枚 + 阪神電車全線バス10枚	

株主優待乗車証 (全線バス)



- ・阪急電車全線バスの適用区間：阪急電車線全線 (神戸高速線を除く)
- ・阪神電車全線バスの適用区間：阪神電車線全線 (神戸高速線を除く)

株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)



共通回数カードの適用区間：阪急電車線及び阪神電車線全線 (いずれも神戸高速線を除く)

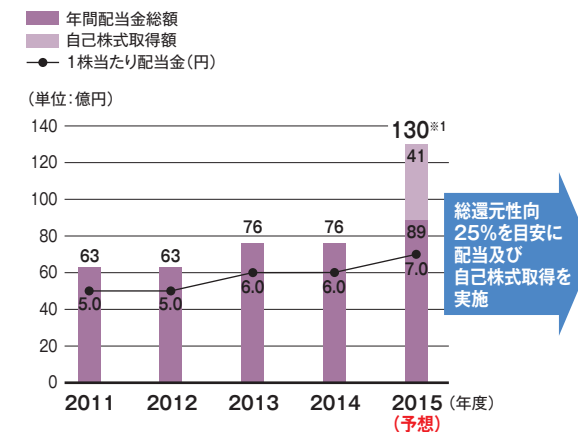
株主優待につきましては、9月30日、3月31日の株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送いたします。(年2回)

配当政策

当社は、2013年度利益の配分から、1株当たりの配当金の下限を年間5円から6円へ変更しました。この基本方針に基づき、2014年度の年間配当金については、1株当たり6円 (中間配当金3円、期末配当金3円) となりました。

今後については、中長期的な成長に向けて新たな経営のステージに移行する中で、業績が安定的に推移していること、また財務体質の改善が着実に進捗していることを踏まえ、さらに株主の皆様への利益還元の充実を図るため、2015年度利益の配分から、1株当たりの配当金を7円に引き上げることとします。同時に、総還元性向 (連結当期純利益に対する年間配当金総額と自己株式取得額の合計額の割合) 25%を株主還元の新指標と位置付け、安定的な配当の実施と自己株式の取得に取り組んでいきます。

上記の考え方に基づき、2015年度の年間配当金につきましては、1株当たり7円 (中間配当金3.5円、期末配当金3.5円) を予定しています。なお、内部留保資金の用途につきましては、各コア事業の競争力強化を図るための資金需要に備えると共に、財務体質の強化に充てていきます。



(参考) 総還元性向の算出方法
 n 年度の総還元性向 (%) = $(n$ 年度の年間配当金総額) + $(n+1$ 年度の自己株式取得額) / n 年度の連結当期純利益 × 100
 ※上記算出方法に基づく場合、2015年度利益配分に関する自己株式の取得時期は2016年度中となりますが、今回は2016年度中に取得する予定の自己株式の2分の1程度を、先行して2015年度中に取得することを予定しています。

※1 2015年度当期純利益 (予想) : 520億円
 総還元額 (520億円 × 25%) = 130億円

報告事項

- 第177期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件
上記の内容を報告しました。
- 会計監査人及び監査役会の第177期連結計算書類監査結果報告の件
上記監査結果を報告しました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

原案のとおり承認可決され、期末配当金は1株につき3円と決定しました。
※ なお、中間配当金として1株につき3円をお支払いしておりますので、年間配当金は1株につき6円となります。

第2号議案 当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収防衛策）の基本方針決定の件

原案のとおり承認可決され、買収防衛策の基本方針は更新されました。

第3号議案 取締役13名選任の件

原案のとおり承認可決されました。
（重任）角 和夫、坂井信也、井上礼之、森 詳介、
梶岡俊一、藤原崇起、中川喜博、生井一郎、
岡藤正策、野崎光男、秦 雅夫、能上尚久
（新任）島谷能成
なお、井上礼之及び森 詳介は、社外取締役です。
※ 取締役 松岡 功は、退任しました。

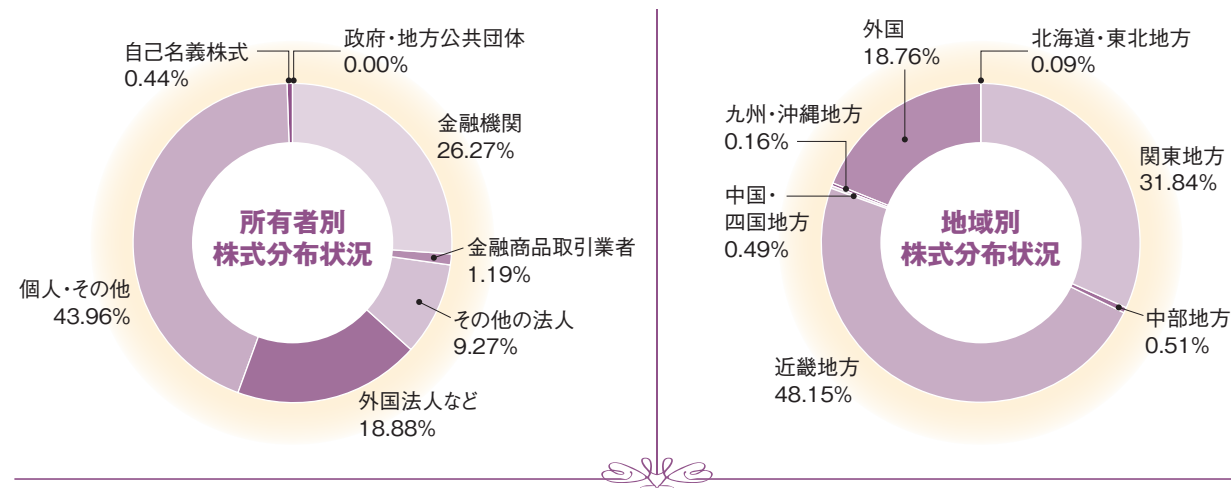


※画像はイメージです。

お知らせ

- 期末配当金（1株につき3円）は、平成27年（2015年）6月17日からお支払いしますので、「配当金領収証」によりお受け取り下さい。
なお、銀行等への口座振込みをご指定の方は、「配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認」のご案内によりお確かめ下さい。
- 「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様にも「配当金計算書」を送付しております。配当金をお受け取りになられた後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。

当社では、株主総会当日のエネルギー使用に伴い排出されるCO₂について、森林の間伐や植林などによるカーボン・オフセットにより、実質的にゼロ（カーボン・ニュートラル）とする取組みを実施しています。



決算期

3月31日

定時株主総会

6月

基準日

定時株主総会
権利行使株主確定日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日

単元株式数

1,000株

株式のお手続に関するお問い合わせ先

手続の内容	株式口座の開設先	証券会社	特別口座（※）
住所変更、単元未満株式買取請求・買増請求などの各種お手続		口座開設先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社（口座管理機関） 大阪証券代行部 TEL. 0120-094-777 （通話料無料）
特別口座から証券会社の口座への振替請求		—	

※2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式（登録株を含む）につきましては、特別口座で管理されております。特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができます。三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせ下さい。

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL. 0120-094-777（通話料無料）

公告方法

電子公告
（但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載）
電子公告掲載 URL: <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/ir/>